

沖縄大自治会再建へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2014年5月17日
No.194

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

自治会再建全学投票に向かって、 19日はキャンパス集会！

沖縄大学からの報告

※沖縄大からの報告メールを転載します。

■16日の中庭大展開！

学生自治会復活会の仲間が、昼休みに中庭に登場！ 中庭は19日集会をやる会場です。赤嶺君（法経学部2年、復活会代表）が演説を始めると、登場したのが20人にのぼる弾圧職員。しかし、それを取り囲む学生の数、数、数!!! 2号館には1階から6階まで、すべての窓から学生がじっと赤嶺君の訴えに耳を傾けています。

自治会をつくりたい、ビラまき禁止の学生規則許せない、構内放送（※後述）許せない…。実に40分に渡って、激しく訴えを行いました！

「あの中に沖大生はいない!」「話聞いちゃダメだから!」などと慌てて学生に触れ回る当局職員! しかし、最後にはまったく赤嶺君に手出しできなくなりました!

昼休みが終わった後もすさまじい反応! これまで「活動をやめた方がいいのではないか」と言っていた2年生の学生は、「今日の演説は響きました!」と言ってメッセージも書いてくれました! さらに僕たちがコンビニに寄ると、「お

疲れさまです!」と声をかけてくれる学生も!

『沖大生の力で戦争とめよう! 5・19キャンパス集会』で、一人でも多くの沖大生に声を上げてほしい! いろいろアイデアを考えています! 沖大キャンパスに集まり、自治会復活会の仲間と握手を!

■沖大の本質を暴く!

15日の『公開要求書』提出行動!

昨日の『公開要求書』提出に対し、「担当の者がいない」と返答を行った学生支援課。これに対して、本日満を持して再び『公開要求書』提出行動に決起!

出て来たのは「担当」のタシロ・マキ氏。『公開要求書』を読み上げ手渡ししようとしたところ、「お預かりはしますが、学長に渡すかどうかはしかるべき場で判断します」との回答。この間集めたメッセージなどを見せながら、学長にきちんと『要求書』を提出するよう追及します!

「もうラチがあかない!」、怒りに燃える復活会メンバーはそのまま、総長室に駆け上がります。そこに登場したのが、7人の教職員! しかも赤嶺君に「研究室で話を聞くよ」と昨日まで話しかけていた教員も弾圧に!

コイツらホントに許し難い! 仲地学長に『要求書』を渡



キャンパス中央中庭で沖大当局と徹底対決! (5月16日)



学長室前で弾圧教職員7人を弾劾・追及! (5月15日)

学生支援課窓口に『公開要求書』を提出！（5月15日）



せない理由は「復活会が外部勢力とつながっているから」(!)。「沖大生の声を受け止めろ」との追及には、「メッセージはみんな脅されて書かされている。この前に門前で署名していた学生は手が震えていた」と！(怒)「その学生に話しかけたのか？」と問うと、「そんなことしていない」との返答！

さらに、「学生は不満を持っていない」とも!! 4人に1人が大学を去らざるえない現実、学生が懸命に考え生きることがすべて否定する「大人」たち！ 本当に許せない！

攻防を経て、もう一度『要求書』を渡すため階下に戻ると、突然の構内放送。「学外の不審者が不審な行動をとっています。沖大生は気をつけるように」(!)。まともに復活会の仲間に対して反論できない当局は、法大と同じく、ついに大学を私物化しはじめたのです！

しかし、その後の授業で放送が流れながらも、「あいつらは学外者じゃない！」などの声が上がり、駆け寄ってきてメッセージカードを渡す学生も！ 当局の反動は破産している！

※武田君逮捕弾劾！ 法大弾圧でさらに奮起しています！

■本日(14日)の感動をみなさんに！

本日(14日)、本当に感動的なことがありました！ 今日から集め始めた「沖大生の声」。19日の沖大集会の際、中庭に仲地学長を呼び、これらの声を突きつけます！

とはいうものの簡単に集まるものでもありません。しかし、昼休みのことです。2限に訴えを行ったクラスに行くと、1限に入ったクラスの学生と遭遇。その学生は何と、メッセージを友達の分もまとめて教室に置いておいてくれたというではありませんか！ 数にして6枚！ しかも、「戦争反対で活動することは素晴らしいと思います！」や「ビラ

まき規制がもし理由のあることであれば、きちんと学生に説明して下さい。納得いくまで!!」など、素晴らしいメッセージばかり。仲地学長よ、これが沖大生の声だ！

■「過激派宣伝」の教授のクラスに突入！

今週(12日～)から、職員がクラス討論にイチャモンをつけ始めるようになりました。クラス討論が終わり、5分くらい廊下で職員とやりあっていた時のこと、教室から次のような声。「先ほど話していた人たちは『革マル』などと言って、日米安保粉砕などから話を進め、どんどん過激な行動に学生を誘いこもうとします。連合赤軍は仲間をリンチして殺害し、浅間山荘では警視庁が鉄球を…」などと、明らかに私たちを念頭に置きつつ、かつ、まったくお門違いの話をしているではありませんか！

赤嶺君が決意を固め、ノックをして教室に突入！「先生！いま何か言ってましたよね！(怒)」。こちらが完全に帰ったと思い、学生を籠絡しようとしていた教員は茫然自失。「ただ自分の体験を話しただけ」などと苦しい弁明。

教室を出る間際の赤嶺君の熱烈な訴え！「教授や職員はいろいろ言うが、自分の目で判断してほしい！ 19日の中庭集会に来てほしい！」。教室は湧きに湧きました！

■14日の要求書提出行動！

沖大集会のための中庭貸し出しを拒否した沖大当局。これに対して自治会復活会は本日、「教授貸出拒否弾劾 ビラまき規制撤廃」などを連ねた『要求書』を提出しました、…と言いたかったのですが、何と「今日は担当がいないので受け取れません」との返事！ しかも「要求書を受け取ったら要求を受け取入れたことになりますので(?)」なる弁明！

15日にあらためて窓口に参上することに。学生支援課長のタシロ・マキ氏と全面対決します！ 今日の行動には、複数の沖大生が参加！ とともに抗議をする学生、そして『要求書』を下さい、と言って持っていく学生も！

この間、学生自治会復活会は毎日打ち合わせをしながら、闘っています。「19日は沖大で何が起こっているかコソコソしないで、全部明らかにしたい！ 弾けたい！」と日に日に集会に向けた意欲が高まっています！ 揺るがせ沖大！ 止めよう戦争！ すべての学生は沖縄闘争へ！

【当面する行動方針】

○国鉄闘争全国運動6・8全国集会

国鉄1047名解雇撤回・外注化粉碎！

6月8日(日) 13時～ 東京・文京シビックホールにて

【呼びかけ】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

○6・13法大処分撤回第6回裁判

6月13日(金) 16時～ 東京地裁・615号法廷にて ※傍聴券配布のため30分前までに裁判所脇に集まって下さい

